

| | |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

| | | | | |
|----------------|-------------|----|--------|--------------|
| ○事業所名 | みなみの療育室 えがわ | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 8日 | | ～ | 2026年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 11 | (回答者数) | 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 8日 | | ～ | 2026年 1月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 1日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---------------------------------|
| 1 | ・アクトルーム・ブレイルームがあり、活動の場が充実している。 | ・アクトルーム・ブレイルームでの活動場所を分けることで机上課題、粗大運動の提供の場を区分することができ、場面の切り替えや環境設定を行える。 | ・天候や気温を考えながら、今後も屋外での活動も取り入れていく。 |
| 2 | ・小集団での療育。 | ・小集団での療育を行うことで、一方的ではないコミュニケーションも取れ、利用児童に合わせた支援内容をマンツーマンで調整もできる。 | ・利用時の児童の様子を見ながら、適切な支援を提供する。 |
| 3 | ・定期的な社内研修の開催。 | ・グループワークを取り入れている。 | ・多種多様な分野の研修を専門の職員が行っていく。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ・職員増員による、職員間の連携が弱い。 | ・連携不足による情報共有の不備。 | ・支援終了後の日々の連絡や、定期的なミーティングにて情報共有の場を持つ。 |
| 2 | ・保護者、きょうだい児との関わりの場が少ない。 | ・秋祭り等の親子参加型イベントを開催しているが、開催頻度が少なく、また、就労している家庭も多いため多くの参加に至らない場合もある。 | ・保護者様向けアンケートの結果も踏まえ、保護者様の希望する交流会の開催頻度を上げ、多くの参加を臨めるようにしていく。 |
| 3 | ・緊急時、非常災害時の対応マニュアル等の職員・保護者様への周知。 | ・マニュアル作成と職員周知は行えているが、保護者様への通知は徹底できていない。 | ・職員へは定期的な研修を行い、保護者様へは契約やモニタリング時に書面交付し周知徹底を図る。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みなみの療育室 えがわ

公表日 2026年3月2日

利用児童数：11

年 月 日

回収数 10

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|--|----|---------------|-----|-------|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 10 | | | | ・プレイルームが気に入って通所している ・アクトルーム・プレイルームと活動の場が分 かれていたのがいい | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 9 | 1 | | | ・マンツーマンの療育時間があり安 心 | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっ ていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パ リアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いま すか。 | 9 | | | 1 | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。 | 10 | | | | ・清潔である | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性 のある支援が受けられていると思いますか。 | 9 | 1 | | | ・言語聴覚士の職員を配置して欲しい ・非言語的コミュニケーションを取り入 れてくれている | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支 援内容と合っていると思いますか。 | 9 | 1 | | | ・問題ない | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客 観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。 | 10 | | | | ・問題ない | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 10 | | | | ・問題ない | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。 | 10 | | | | ・色々な活動があり、子どもが飽き ずに利用できる | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の こどもと活動する機会がありますか。 | 6 | 3 | | 1 | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。 | 9 | | | 1 | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされまし たか。 | 10 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が 行われていますか。 | 5 | 1 | 2 | 2 | | ・次年度は今年度より多く開催で きるよう検討しております。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 10 | | | | ・送迎時やHUGを通じて、現状やア ドバイスを頂ける | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていま すか。 | 7 | 3 | | | ・利用開始半年後で面談を行った | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 9 | 1 | | | ・子どもに愛情を持って支援してい ることが伝わる | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされています か。 | 3 | 2 | 3 | 2 | | 今年度は、秋祭りにて放課後等デイサ ービスにおいては保護者会を行って おります。次年度からは児童発達 支援の保護者様にもご参加頂け るよう検討していきたいと思 っております。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|--|---|-------------------------------------|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | | | | | ・相談にたくさんのってもらえる | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | ・写真や文章での活動内容の報告が毎回あり、家族のサポートに役立っている | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 9 | | 1 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 6 | | | | 4 | | 次年度は保護者様にも確認いただけるよう手引書等を検討しております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 6 | | | | 4 | | 年間計画において、避難訓練を実施しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | 2 | | 次年度は保護者様にも確認いただけるよう手引書等を検討しております。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 4 | 1 | 1 | | 4 | | 事故等の発生時には、処置が必要でなかった場合でも、保護者様に速やかに連絡し、ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止策を職員間で共有しております。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 9 | 1 | | | | ・顔見知りの職員が迎えに来てくれることで、安心して通所できている | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 9 | 1 | | | | ・毎回活動の内容を楽しみにしている | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 10 | | | | | ・今後も利用を続けたい | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | みなみの療育室 えがわ | | 公表日 2026年3月2日 | | |
|---------|--------|--|-----|---------------|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | 机上活動のスペース作りには、パーティションを活用しています。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | 利用児童の特性に合わせて環境設定を行っています。また、季節に合った室内温度設定に注意しています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 1 | 定期的な清掃・消毒を行っています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 2 | 3 | 申し送りや共有事項を確認するミーティングを日々行うようにしています。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 2 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | | 機会は設けているが、状況に応じた対応や変更の周知が反映されていない場合もあるため、職員間の共有の場を設けるように報連相を徹底していきたいと思います。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 4 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | 法人内での定期的な研修等で、特性について向学に繋がっています。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | ホームページで公表しているため、定期的に見直し支援に取り入れています。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | 1 | | 支援方針については共有されつつあるが、職員間となるとまだ格差を感じるため、定期的な研修を行うよう検討しています。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 2 | | 各職員でそれぞれ把握するべきところはそれぞれで確認し、共有する場を設けていくよう検討しています。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | 3 | インフォーマルアセスメントは日々行っております。 | 標準化された評価スケールは現在準備段階です。次年度より専門職が増員されるため、実用的に導入予定です。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--------------------------------------|
| 援 の 提 供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 2 | 3 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | 日々担当者が変わり、様々な活動を取り入れることで、子どもたちの変化が見られません。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | 年齢に応じた机上活動・集団遊び等を活動に取り入れています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | 3 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | 2 | 電子請求システムを活用して記録を行い、保護者へご報告しています。 | ミーティング等で支援の検証、改善について話し合う場を設けています。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | | 機会が少ないため、今後は担当を決め体制を整えていきたいと検討しています。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 4 | | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | 5 | | 保護者のニーズに合わせた助言は行っているが、保護者支援については今後強化していきたいと考えています。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | 定期的ではないが、保護者の発信時やモータリング時などに行っています。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 2 | 保護者においては交流会は年に1度程度、希望者のみの参加として開催しています。 | 今後、保護者・きょうだい児に対して親子行事等の参加を促していきたいとします。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | | |
| 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 3 | | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 1 | | 定期的に訓練は行われているが、マニュアル化できる部分は職員全員が同じ動きができるようにしたいと考えています。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | 2 | 定期的に訓練を行っています。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 3 | 2 | | 予防接種の状況まではまでは把握できていないため、検討していきたいと思います。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | 1 | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 3 | 2 | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | 1 | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | 3 | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 3 | 2 | | | |

公表 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | みなみの療育室 EGAWA | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 8日 ~ 2026年 1月 31日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 15 | (回答者数) 14 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 8日 ~ 2026年 1月 31日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|-----------------------------------|
| 1 | ・アクトルーム・プレイルームがあり、活動の場が充実している。 | ・アクトルーム・プレイルームでの活動場所を分けることで机上課題、粗大運動の提供の場を区分することができ、場面の切り替えや環境設定を行える。 | ・天候や気温を考えながら、今後も屋外での活動も取り入れていく。 |
| 2 | ・定期的な社内研修の開催。 | ・グループワークを取り入れている。 | ・多種多様な分野の研修を専門の職員が行っていく。 |
| 3 | ・開所して1年未満であるが、地域交流を多く取り入れている。 | ・社会福祉士経験者により、地域や他事業所との様々な交流が図られている。 | ・今後も定期的な交流ができるよう、専門職員以外も担当していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | ・職員増員による、職員間の連携が弱い。 | ・連携不足による情報共有の不備。 | ・支援終了後の日々の連絡や、定期的なミーティングにて情報共有の場を持つ。 |
| 2 | ・保護者、きょうだい児との関わりの場が少ない。 | ・秋祭り等の親子参加型イベントを開催しているが、定期的な開催ではなく、また、就労している家庭も多いため多くの参加に至らない場合もある。 | ・保護者様向けアンケートの結果も踏まえ、保護者様の希望する交流会の開催頻度を上げ、多くの参加を臨めるようにしていく。 |
| 3 | ・緊急時、非常災害時の対応マニュアル等の職員・保護者様への周知。 | ・マニュアル作成と職員周知は行えているが、保護者様への通知は徹底できていない。 | ・職員へは定期的な研修を行い、保護者様へは契約やモタリング時に書面交付し周知徹底を図る。 |

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みなみの療育室 EGAWA

公表日 2026年3月2日

利用児童数15 年月日

回収数14

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------------------------------------|--|----------------------------------|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 14 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 12 | 1 | | 1 | | |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。 | 13 | 1 | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。 | 14 | | | | | |
| 適切 な支 援の 提供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のあ る支援が受けられていると思いますか。 | 12 | 2 | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。 | 14 | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。 | 14 | | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。 | 12 | 1 | | 1 | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。 | 14 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。 | 14 | | | | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。 | 12 | 1 | | 1 | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。 | 12 | 2 | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。 | 12 | 1 | | 1 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレ ーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。 | 11 | 1 | | 2 | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 13 | 1 | | | ・ライン等での返信が早く、助かっ ている | ・保護者へのライン・電話へは迅速に 対応するようにしている |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていま すか。 | 10 | 2 | | 2 | ・困りごとの相談に応じてくれ、専 門的なアドバイスをもらえる | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 13 | | | 1 | ・保護者に寄り添ってくれる職員が 多く、事業所から帰宅後の子どもの 表情がとてもいい | |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の 交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています か。 | 9 | 1 | | 4 | 保護者・きょうだい児において、交 流会は年に数度開催しています。 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|-----------------|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | 2 | 2 | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | 4 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 12 | | | 2 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 14 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 5 | 2 | 1 | 6 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 9 | | | 5 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 9 | 2 | | 3 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | 1 | | 5 | ・まだそのような事例がないため | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 14 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 14 | | | | ・とても楽しみに通所している | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 14 | | | | | |

公表 所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 2026年3月2日 | | | | |
|---------------|--------|--|-----|---------|-------------------------------|---|
| みなみの療育室 EGAWA | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | 活動時間に応じて、スペースを確保している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | | 子どもの特性に合わせた環境整備が必要。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | 1 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | 2 | 業務改善は都度行われており、発信に対しては対応できている。 | 出勤状況で職員全員への周知は難しい場合もあるため、ミーティングに出席出来なかった職員への周知を徹底する。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | | 雇用時期によっては共有されていない場合もあるため、日々のミーティングを欠かさず行うようにしている。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 毎月事業所ミーティングを行っている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 5 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | 研修内容が担当制によることで、様々な分野の向学になる。 | |
| 適 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 5 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | | 会議中だけでなく、支援の最中で発信があった場合も支援後に即検討している。 |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 2 | | 支援者が計画を確認、共有する場を設ける。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2 | 3 | | フォーマルなアセスメントに個々の主観も入りやすいため、検査の利用や基準があると、統一した支援につながるのでは？ |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 1 | | |

| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 切 な 支 援 の 提 供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 1 | 4 | 活動計画は専門職員が担当しているが、内容は各担当が行い分担できている。 | チームワークが不足しているため、情報共有の場を日々設けるように改善した。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | 利用児童の成長や季節の行事等考えられた活動内容である。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | 1 | | 連携が薄いと感じられたため、情報共有の場を毎日設けるように改善している。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 2 | 利用児童の支援に繋がったことや改善点はアウトプットを心がけている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | 2 | 支援終了後利用児童の様子を職員間で共有する時間を設けている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 5 | | 支援者側の思いだけでなく、利用児童の意思を聞く姿勢を持ち支援を行っている。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 1 | 学校との連携は、情報共有に繋げるため送迎時に行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 5 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 2 | | 今後行っていく予定である。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 1 | 4 | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 2 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | 1 | 社会福祉士経験者がおり、積極的に交流を図っている。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | | |
| 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | 4 | | | |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|------------------------|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 5 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 1 | | |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | 利用児童とは視覚化など伝わる方法を工夫している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 4 | マニュアルは作成されているが、周知の点では課題がある。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 3 | 2 | | 服薬状況や投薬に関して、一覧にして備えたい。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 1 | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 2 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 3 | 2 | 同様のヒヤリハットが起こりうることもあるため、直後にミーティングで情報共有を行うようにしている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 2 | 3 | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3 | 2 | | | |